

七月よみとりおけいこ⑥低学年

名まえ（

今年の土用のうしの日は七月二十八日です。ということで、今日は土用のうしのはなしをしてみましょう。

今のようにウナギをかばやきにするようになったのは江戸時代の一六八八年（一七〇四年）のあいだのことだそうです。そして一七七二年（一七八九年）のあいだには、江戸の人々のあいだで土用のうしの日にウナギをたべることがはじまつたのだそうです。

もつとも、千三百年ほどまえには大伴家持（おおともやかもち）という人が「夏やせにはウナギをたべるといい」と歌（うた）によんでいます。

江戸時代にベストセラーになった『養生訓』という本にはウナギが夏におすすめのたべものであることがかかれています。

そのころの江戸では健康ブームがわきおこり、「腹（はら）八分目を心がける」「旬（じゅん）のものをたべる」ということがしつかりいきわたつていていたようです。

「本日土用丑ノ日」という紙を平賀源内（ひらがげんない）という人がウナギやさんにはつたという説（せつ）もありますし、江戸・神田のウナギや・春木屋善兵衛（はるきやせんべえ）がうしの日にたべるようにすめたという説もあり、本当のところはわかりません。

しかし、古くからウナギは体によいたべものだとおもわれていたことはたしかです。

しかし、ちかごろニホンウナギはピンチなのです。

少しまえまで河口（かこう）にうじやうじやいたシラスウナギ（ウナギの子）がほとんどなくなつたのです。とりすぎや温（おん）暖（だん）化（か）のせい（せい）によつて、ウナギが死んでしまつたのです。このままでは絶滅（ぜつめつ）してしまうのではないかと心配（こころ配）いする人もいます。みなさまもそのあたり、しらべてみては？

できばえは？



- ① なんのはなしですか？
（ ）

- ② 土用のうしの日にはなにをたべるといいとかんがえられたのですか？
（ ）

- ③ 土用のうしにはウナギ、といわれはじめたのはいつですか？
（ ）
- ④ 江戸時代（明治時代）昭和時代千三百年まえにウナギをすすめた人はだれですか？
（ ）

- ⑤ 江戸時代にウナギがおすすめとかいてあつたベストセラーはなんといふ本ですか？
（ ）

- ⑥ 江戸時代の健康ブームでいきわたつたことを二つあげましょう。
（ ）

- ⑦ 土用のうしのはり紙をしたらしいといわれる人はだれですか？
（ ）

- ⑧ あつている文に○をつけましょう。
（ ）

- （ ）ウナギは大きくなるとシラスウナギになる。
（ ）ウナギのかばやきはおおむかしからある。

- （ ）むかしからウナギは体によいとされた。
⑨ おもつたことを四行にまとめましょう。